

民主

PRESS MINSHU

2008年 年金特集

号外

定価200円(消費税込み)
年間購読料3000円(送料含む)

民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

神奈川県

第5区総支部版

総支部代表 田中慶秋



前・衆議院議員 田中けいしゅう 衆議院議員 ながつま昭

年金を取り戻せ 消えた5000万件の年金記録

田中けいしゅうとながつま昭が 年金問題の核心に迫る!

田中

消えた年金が5000万件、手書きの基本台帳が8億5000万枚などといわれている。結婚、引っ越し、転職によって不明になった。

ながつま

一度も転職したことのない人でも抜けている。転職によって、その期間が抜けていた。転職になると担当する社会保険事務所もかわる複雑な仕組みがあるからだ。

田中

結婚して不明になった人が10人に2、3人いる。私のところに相談にみえる。自らチェックされていない人、比較的女性が多い。

消えた年金の中で1950万件も年齢、性別がわからないといわれている。実際はどうなのか。

ながつま

驚くことに、5000万件の中で300万件以上、名前が空欄になっていた。あるいは30万件に年齢が書かれていない。社保庁は紙台帳と照合しているが、入力されていない1400万件はそのまま放っておいてコンピューターに入力されていなかった。

アルバイトを使ったり、外国人に漢字の照合をさせている問題がわかり全部やり直しになってしまった。ズサンな状態だ。我々は政治主導、国家プロジェクトで取り組む。甘やかしている自民党政治を変えなければだめだ。

田中

年金のムダ遣いが5兆とも10兆円ともいわれる。その内容は明らかにしているのか。

ながつま

厚生年金と国民年金で、昭和20年から年金の支払以外で6兆円が使われたことがわかった。そのうち2兆円弱がリゾート施設や福祉施設に注ぎ込まれた。全部ムダ遣いかといわれるがコンピューターの購入も入っている。しかし、相場よりべらぼうに高い。

田中

小泉首相のとき、排気ガスの問題で役所の自動車が100台以上も買い替えられたことがあった。民間では社宅、厚生施設を売却して赤字を埋めている。しかし、社保庁は未だに官舎などを一等地に保有している。

ながつま

私の事務所に社保庁の職員を呼んだとき、若い職員が黒塗りの高級車に乗りやってきた。社保庁や厚生労働省は新入職員でも黒塗りのくるまだという。重要書類を持っているのでなくすはず。だから黒塗りのくるまで移動する。民間では信じられないことだ。

田中

官舎でも同じだ。職員の6割以上が利用できる官舎を建てているのではないか。これもすべて年金からのカネだ。

ながつま

厚生労働省の官舎は他の省庁よりデラックスだ。6兆円が年金支払以外に使われたが、「この額は全体の1点数パーセントだから目くらたてないで」と役人がいう。昭和20年から払い込んだすべての保険料、約400兆円の1点数パーセントを端金のようにいう。ビツクリした。はしたがね

田中

そういう感覚だ。今まで不明になっている人の掛け金はどうなっているのか。

ながつま

当然、特別会計に入っている。簡単にいうと預かったカネはあるが誰のカネだかわからないということだ。

田中

一生懸命働いても受給の資格が得られないという人から相談を受けた。その上、今までの掛け金は没収だといわれた。

ながつま

先進国では例を見ない25年ルールがある。24年11カ月分は払っていた。1カ月足りなくても0になる。70歳まで働いても25年に満たず、給料から保険料が天引きされているタクシー運転手の事例がある。「貰えないとわかっているから、引かれるのは辛い」と嘆く。

田中

貰えなくて、天引きされたカネは何処にいくのか。

ながつま

年金特別会計に入って、他の受給者の年金にまわるか役人のムダ遣いに使われるかだ。我々は掛け金を年金以外には使うなどという「年金保険料流用禁止法案」を提出している。参議院では通り、衆議院に送ったら自民党の反対でそのままになっている。

今日も1年間で2000億円のカネが支払い以外に使われている。だから政権交代を早くしないと。

田中

長い間年金を掛けても貰えないのは日本だけではないか。

ながつま

最長のアメリカでも10年だ。民主党の制度では、そのようなことはない。社保庁を解体して国税庁と吸収合併して税金と年金を一緒に集める歳入庁を新たにつくる。行政改革にもなる。そして、すべての職業の人を一つの年金制度にする。(裏面に続く)



田中けいしゅう

老後の夢と安心を奪った ズサンな社会保険庁の年金管理。 政府・自民党では年金改革は不可能だ。

田中けいしゅう と ながつま 昭 氏

2008年2月29日(金) 於:戸塚公会堂

ながつま 昭



(表面から) 所得の低い人は最低保障年金をつける。これを政権交代したらやっていく。

田中

期間が足りず、掛け金が貰えない、没収されるようなことはおかしい。その部分だけでも貰えるように、法律を変えて貰いたいとの声がある。変えていかなければいけないのではないか。

ながつま

「日本は皆年金(かいねんきん)」といわれているが、無年金者が多い。年金制度というより、福祉政策として取り組む必要がある。政権交代するまで待っていたら大変だ。今の政権の中でもやっっていかなければならない。

田中

役人が加入する共済年金は1円も損をしていない。国民、厚生年金がその打撃を被る。

ながつま

厚生年金、国民年金担当の社保庁、国家公務員共済年金を担当する財務省、地方公務員共済年金を担当する総務省、3者の紙台帳の保管状況を聞いたら、財務省も総務省も保管しているが社保庁だけが保管していない。昭和60年に廃棄命令がでて捨てられた。自分たちのキチンとしているが、みなさまは捨てている。そこが官尊民卑だ。そこをただす。

田中

民主党、頑張っって欲しいといわれる。参議院では与野党が逆転になって流用禁止法案も通った。しかし、あまり報道されていない。もっとマスコミを巻き込んでいかなければいけないのではないか。

ながつま

流用禁止法案を参議院で通して衆議院へ送った。ここで自民党も上手い。衆議院で否決すると地元で攻撃されるので、審議が必要だということでも賛成も反対もしない、継続審議にしてある。

田中

年金を一元化していかないと年金が貰えない、生活保護より低い、おかしなことだ。

ながつま

国民年金の1カ月の掛け金が1万4100円。40年フルに真面目にかけても1カ月6万6000円だ。国民年金は1カ月平均4万円ちょっとだ。これでどうやって生活できるのか。

国民年金は自営業が多く、資産を受け継いでいる。資産を持っているからその付け足しで生活できる、というのが国の考えだ。これは時代錯誤だ。現在、国民年金を掛けている自営業者は30.5%だ。46.6%と、半分近くはアルバイトやパートの人たちだ。だから一元化しないと大変なことになると訴えている。

田中

今は雇用形態が変わり正規が6割を切って、4割が非正規社員だ。本来なら厚生年金に入らなければいけない人が殆どだ。

ながつま

事業主負担が重いので、国民年金で払って貰うようになっている。年金を一本にするのは世界の流れだ。民主党案は、これまで

払ったものはそのまま従来の年金が貰え、新たな制度の年金と足したものが受給される。

田中

未加入、未納者が多くなっている。この点から民主党案は年金を一元化して税方式にする。

ながつま

税方式だけではなくて、年取が同じなら職業の別なく同じ保険料を徴収する、受給額も同じ。年取の低い人のために最低保障年金を税金で上乗せするというものだ。

未納をなくすために保険料と税金を一緒に集める。アメリカ、カナダ、スウェーデン、イギリスで成功している。

田中

自民党は財源をどうするのかという。消費税を導入したとき、福祉に使うといっていたはずだ。消費税を目的税化して年金の財源に充てることが民主党の考えだと思うが…。

ながつま

消費税を上げずに5%を年金財源に充てる。不足は1年間で15.3兆円のムダを省いて歳出をカットし、それをまわしていく。この明細は参議院選挙のときのマニフェストで示している。

国だけで2万8000人が4500団体に天下っている。ここに平成18年度の6ヶ月間で6兆円の税金が流れた。その中では天下り団体を食わせる目的で必要性の低い仕事をでっち上げ、カネを流している。天下りがあるのは先進7カ国で日本だけだ。

べらぼうなムダを生みだす仕組みを放置したままで、消費税を上げるのは自殺行為だ。上げた分も「ムダ」という名のブラックホールに吸い込まれていってしまう。「ムダ遣い」を機能的に生みだす仕組みが国のど真ん中に埋め込まれている。政権交代で体質を変えていくことが「ムダ遣い」をなくす前提だ。

田中

税方式ができれば未加入、未納がなくなると考えてもいいのか。

ながつま

年金を1円も払わなくても貰えるとなったら、誰も払わない。我々の制度でも払えるのに払わない人は年金は貰えない仕組みにする。税務署が歳入庁になり、税金と保険料を一緒に徴収する。今でも税務署は税金を90%以上徴収している。問題の社保庁もなくなり、組織上の変更もあり、未加入、未納は殆どなくなると考えている。

田中

いい加減な社保庁は誰一人責任をとっていない。これが今の官僚の体質ではないのか。

ながつま

これが問題の核心だ。前にテレビで「5000万件の年金は既に死んでしまっている人だから問題ない」と社保庁の課長が発言した。この課長が出世した。ということは、政治が人事権を握っていない。お手盛り人事を自民党は放置してきた。自民党は官僚に甘い。

会社に入り働こうが怠けようが、隠そうが隠すまいが、給料が変わらないならおかしくなってしまう。同じことが社保庁で起きている。政治がしっかりと人事権を持たなければいけない。

(2008年2月29日 田中けいしゅう政治フォーラムより)